

～地域共創プロジェクト～
オープンハウスの森での森林保全活動の実施



2022年11月10日、株式会社オープンハウスグループは、企業の森協定を締結した月夜野きのこ園ぐんま昆虫の森・新里（群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷460-1）にて、森林保全活動を実施いたしました。

本活動は、当社グループに係る人々が森林の機能を知ること、森林整備を体験することを目的とし、社員研修という形で実施されました。

昨年に続き2度目の実施となり、当社グループ社員、内定者、およびグループ会社のプロバスケットボールチームである群馬クレインサンダーズの選手スタッフ総勢約45名が参加しました。

研修の内容

- 開会式
- 講義（群馬県森林ボランティアセンター）
 - 群馬県の森林について
 - 森林が抱える課題
 - 森林保全活動の意義
- 実地体験（下草刈り、仮払い機体験）

講義で日本の森林への基礎知識や森林保全に携わることの重要性を学んだ後、実地研修に移り、下草刈りや、刈払い機の操作を体験しました。

また、研修には群馬クレインサンダーズの練習生マリオ・ローレンス・マスダ(ドラマー)選手も参加、弊社社員および内定者と共同で作業しました。

参加者の感想

- 森林も適切に整備する必要があると初めて知った
- 少しやっただけでも疲れた、こういう仕事をして森林保全を行っている人がいるんだと知って、環境を守る意義高い仕事だと感じた
- 木材を使用した住宅会社で働く立場として、貴重な体験ができた



マリオ・ローレンス・マスダ(ドラマー)選手感想

- このような活動に参加するのは初めてでしたが、活動は楽しく、いい経験になりました。自分が決めた場所を綺麗にして、次の場所を綺麗にすることを考えながらやりました。日本の森に来たのは初めてだったので、出身地のハワイとは違う新しい景色で新鮮な気持ちでした。地域のためのこういった活動はいつでもやりたいと思います。



研修後は、自然の中で地元の食材を使ったお弁当を皆で食べ、施設内の散策を行い、群馬県の森林を満喫しました。

オープンハウスグループは今後もこの研修を継続し、グループ全体で、木材の「切る」「使う」「植える」のサイクル確立に積極的に関わり、森林の多面的機能(温室効果ガス削減、水源涵養及び生物多様性の保全)の維持に努めることで、脱炭素社会の実現への貢献に努めます。

【研修の様子】

